

安全データシート

1. 化学品及び会社情報および会社情報

化学品の名称	: 殺菌剤BH
会社名	: 株式会社アマダマシナリー オイルセンター
住所	: 神奈川県伊勢原市石田200
お問い合わせ先	: TEL:0463-96-3241
および緊急連絡先	: FAX:0463-96-3261
推奨用途	: 水溶性切研削油剤用殺菌剤
住所	:

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性	: 該当区分無し
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	: 区分4
皮膚腐食性/刺激性	: 区分1B
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分1
皮膚感作性	: 区分1
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	: 区分2(腎臓、肝臓)
環境に対する有害性	
水生環境急性有害性	: 区分3

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: 飲み込むと有害 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 長期又は反復ばく露による肝臓、腎臓の障害のおそれ 水生生物に有害
注意書き	<p>【安全対策】 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 蒸気、スプレー、ヒュームを吸入しないこと。 適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。</p> <p>【応急措置】 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。 皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断/手当てを受け</p>

ること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢
で休息させること。

吸入した場合、直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクト
レンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後
も洗浄を続けること。

眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物
処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

物質

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学物質

	①		②
化学名又は一般名	有機窒素硫黄系複合物		有機臭素系化合物
濃度又は濃度範囲	非公開		非公開
構造式	非公開	非公開	非公開
CAS番号	登録保証	登録保証	登録保証
官報公示整理番号(化審法)	登録保証	登録保証	登録保証

その他、溶剤として多価アルコール、水を含む。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で
休息させること。
呼吸困難な場合には人工呼吸等を行う。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染した衣服を速やかに脱ぎ、直ちに付着部を多量の水で十
分に洗い流す。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣服を再使用する前に洗濯すること。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、医師の診断、手当て
を受ける。
洗眼を始めるのが遅れると障害を増大させるおそれがある。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに水で洗浄うがいし、速やかに医師の手当てを受ける。
意識不明の場合には、口からなにも与えない。
- 予想される急性症状及び遅発性症状 : データなし
- 最も重要な兆候及び症状 : データなし
- 応急措置をする者の保護 : データなし
- 医師に対する特別注意事項 : データなし

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、二酸化炭素、乾燥砂、粉末消火薬剤、泡沫消火薬剤。
- 特有の危険有害性 : 火災時に刺激性、腐食性、もしくは有毒なガスを発生するおそ
れがある。

特有の消火方法	加熱や燃焼により分解し、臭化水素、窒素酸化物などの有毒で腐食性のヒュームを生じる。
消火を行う者の保護	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
回収・中和	空容器に回収する。残分はオガクズ、ウエス等に吸着させ回収、廃棄処分する。
封じ込め及び浄化方法・機材	危険でなければ漏れを止める。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。出来るだけ換気の良い場所で作業する。指定する薬剤以外とは混合しない。
局所排気・全体換気	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。眼に入れないこと。皮膚との接触を避けること。飲み込まないこと。取扱いの際には、飲食、又は喫煙をしないこと。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。薬剤が付着し取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
保管	
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
技術的対策	特別に技術的対策は必要としない。
混触危険物質	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管条件	雨水を避け、風通しの良い冷暗所に密栓して保管する。盗難、紛失、落下等の事故防止に注意する。本剤は、購入後6ヶ月以内に使用する。
容器包装材料	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

8. 暴露防止および保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	日本産衛学会（2007年版）： 設定されていない。 ACGIH（2007年版）： 設定されていない。
設備対策	屋内作業の場合には、出来るだけ密閉された装置、又は局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。

保護具

呼吸器の保護具	: 有機ガス用保護マスク。
手の保護具	: 耐溶剤(耐油)性保護手袋を着用する。
眼の保護具	: 保護メガネまたは安全ゴーグル
皮膚および身体の保護具	: 状況に応じ、長靴、保護面、ビニール製合羽を使用すること。
衛生対策	: 取り扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的および化学的性質

物理的状態

形状	: 液体
色	: 無色～黄色透明
臭い	: 特異臭
pH	: 4.4(1%水溶液)
比重(密度)	: 1.19(25℃)
溶解度	: 水溶性(水にあらゆる比率で溶解する)

10. 安定性および反応性

安定性	: 通常の室温条件下では安定である。
危険有害反応可能性加	: 加熱や燃焼により分解し、塩化水素、臭化水素、窒素酸化物、イオウ酸化物などの有毒で腐食性のヒュームを生じる。ある種のアミン、アルカリ性化合物と反応する。
避けるべき条件	: 加熱や燃焼
混触危険物質	: 以下との接触を避けること: 酸化剤、アミン、還元剤、メルカプタン、アルカリ性化合物
危険有害な分解生成物	: 塩化水素、臭化水素、窒素酸化物、イオウ酸化物などの有毒で腐食性のヒューム

11. 有害性情報

急性毒性

経口	: 経口マウス LD ₅₀ 雄 600 mg/Kg [[区分4]
皮膚腐食性・刺激性	: 皮膚腐食性 [区分1B]
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: JIS Z 7252:2014 附属書B.3.3 混合物の分類基準(加成方式)により区分1とした。 重篤な眼の損傷
皮膚感作性	: JIS Z 7252:2014附属書B.4.3(加成方式)により区分1とした。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	: JIS Z 7252:2014附属書B.9.3 混合物の分類基準により区分2とした。 長期又は反復ばく露による肝臓、腎臓の障害のおそれ

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	: 魚毒性 ヒメダカ 48時間 LC50 11.6 mg/L [区分3] 魚類に対し毒性があるので、高濃度の薬剤希釈液や洗浄廃液が海洋、河川、養殖池、下水道、地中に流失しないよう十分注意する。
残留性・分解性 COD(Mn)	: 530ppm (殺菌剤BH 1000ppm)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	廃棄する場合は、専門の産業廃棄物処理業者に委託するか、安全上の対策をした排ガス洗浄設備の付いた焼却炉で少量ずつ焼却処分する。 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器および包装	:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	:	IMOの規制に従う。
	航空規制情報	:	ICAO/IATAの規制に従う。
	国連番号	:	1760
	品名	:	Corrosive liquid, n.o.s.
	国連危険物分類	:	8
	容器等級	:	II
国内規制	陸上規制情報	:	該当しない
	海上規制情報	:	船舶安全法の規制に従う。
	航空規制情報	:	航空法の規制に従う。
特別の安全対策			輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号			154

15. 適用法令

消防法	:	該当しない
労働安全衛生法	:	該当しない
PRTR法	:	該当しない
毒物および劇物取締法	:	該当しない

16. その他の情報

本剤は、産業用の防腐防黴剤として広く使用されております。
「安全データシート」は、本剤をより安全にご使用いただくための注意事項等をまとめたもので、通常の取扱いを前提としたものです。
本剤を取り扱う作業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この「安全データシート」を活用されるようお願いいたします。
ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。
現在までの知見を基に作成しておりますが、情報の完全性を保証するものではなく、随時改訂をすることがありますので、その旨予めご了承下さい。
危険有害性の評価及びデータは十分そろっているわけではありませんので、作業時は注意事項をよく守って取り扱って下さい。
また、不明な点はオイルセンターへお問い合わせ下さい。